

新生会第一病院にて経皮的腹膜カテーテル植込み術を受けた患者さんへ

【過去の治療データの調査研究への使用のお願い】

新生会第一病院では「PPAP（経皮的腹膜カテーテル植込み術）の成績調査」という臨床研究を行っております。そのため、当院にて腹膜透析カテーテル植込み術を受けた患者さんのカルテ等の治療データを使用させていただきます。

以下の内容をご確認ください。

○この研究は新生会第一病院 倫理審査委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。

研究期間

臨床研究審査委員会承認日 ～ 2030年3月31日まで

対象調査期間

2025年4月1日 ～ 2030年3月31日

○腹膜透析カテーテルの植え込み手術は、手術時に説明させていただいた通り、小開腹手術が基本であり、これまで行われてきました。2024年に内視鏡手術が保険適応となっておりますが、海外では、経皮的植込み術が承認されています。この術式はまだ本邦では少なく、その治療成績および予後について評価を必要とします。

○研究の対象は、2025年4月から2030年3月までの間に、新生会第一病院で経皮的腹膜透析カテーテル植込み手術を受けた患者さんの電子カルテおよび検査結果です。

○過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

○使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。

○調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。

この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい方、あるいは本研究にカルテ情報の使用を希望されない場合は、匿名化したデータを削除いたしますので、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。本研究に参加することを拒否されても、何も不利益になることはございません。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

【問い合わせ先】

新生会第一病院 倫理委員会事務局：内本

T E L : 052-808-2100(代) F A X : 052-808-3232

研究責任者 外科部長 藤井 恵